

デザインと創造の業界動向調査

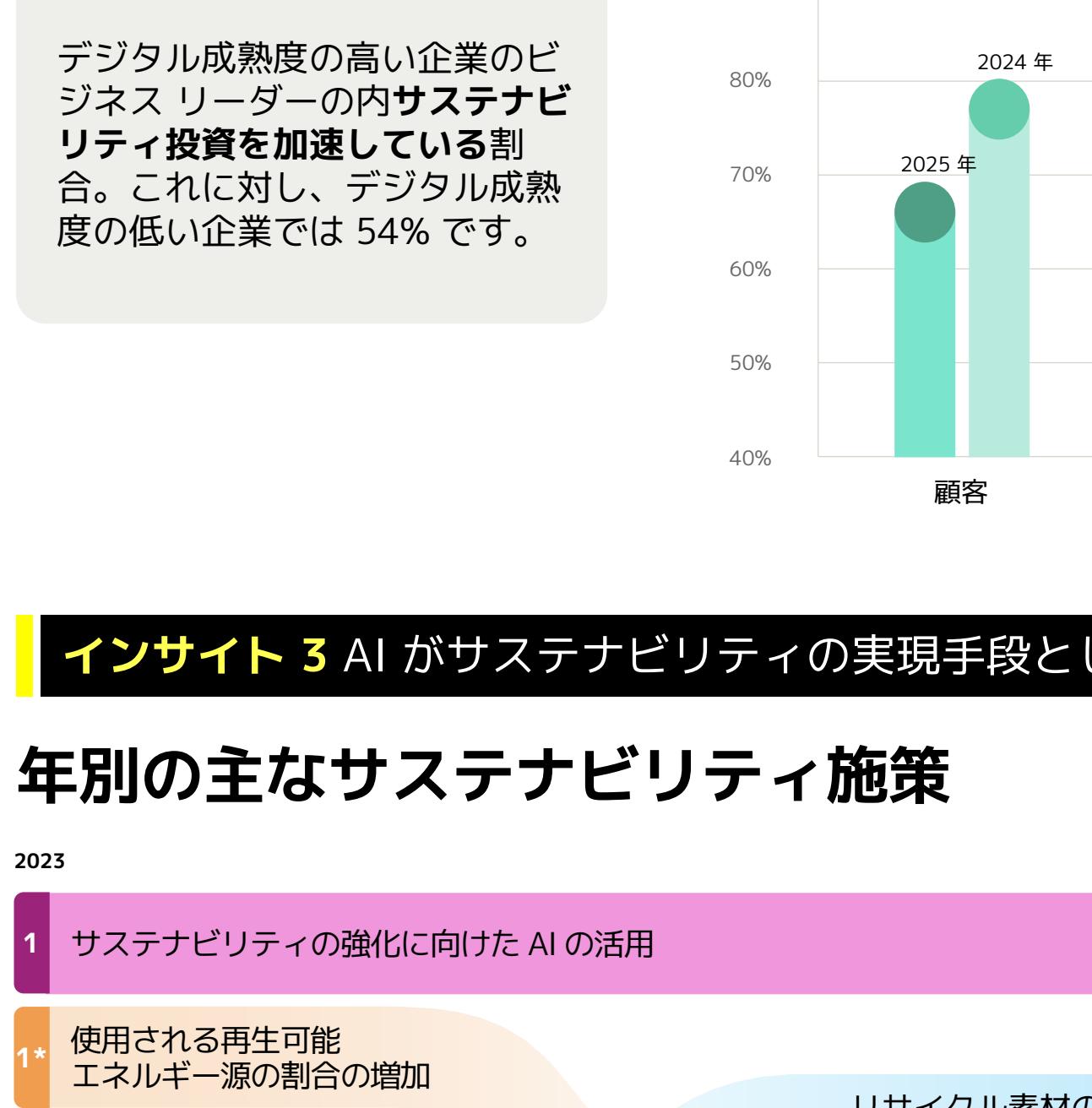
AUTODESK

エンジニアリング サービス
プロバイダー

2024
2025
2026

インサイト 1 非常に良い影響をもたらすデジタルトランスフォーメーションの取り組み

デジタルトランスフォーメーションの主な3つの利点



デジタルトランスフォーメーションが組織全体に利益をもたらす

デジタル成熟度が高い企業は、同業他社よりも以下のように答える傾向が見られます。

+26%

業績が「平均以上」または「顕著」だったと回答した企業の割合

+39%

「将来への準備ができる」という質問に、「そう思う」と回答した企業の割合

+30%

過去3年間で投資が「増加」または「大幅に増加」したと回答した企業の割合

+30%

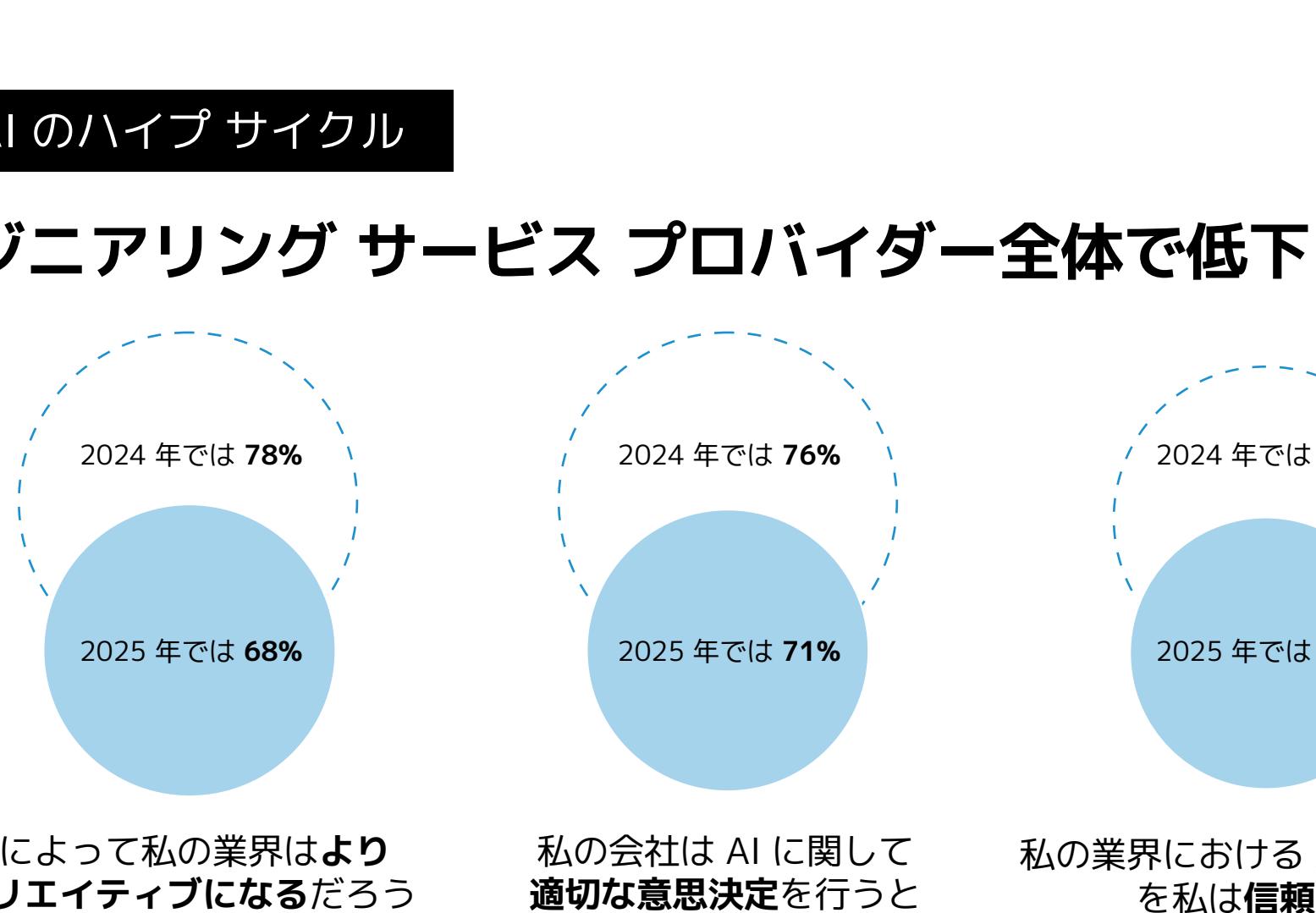
業界の変化に「まったく」遅れをとっていないと回答した企業の割合

インサイト 2 サステナビリティの推進要因がプレッシャーから収益性へと変化

72%

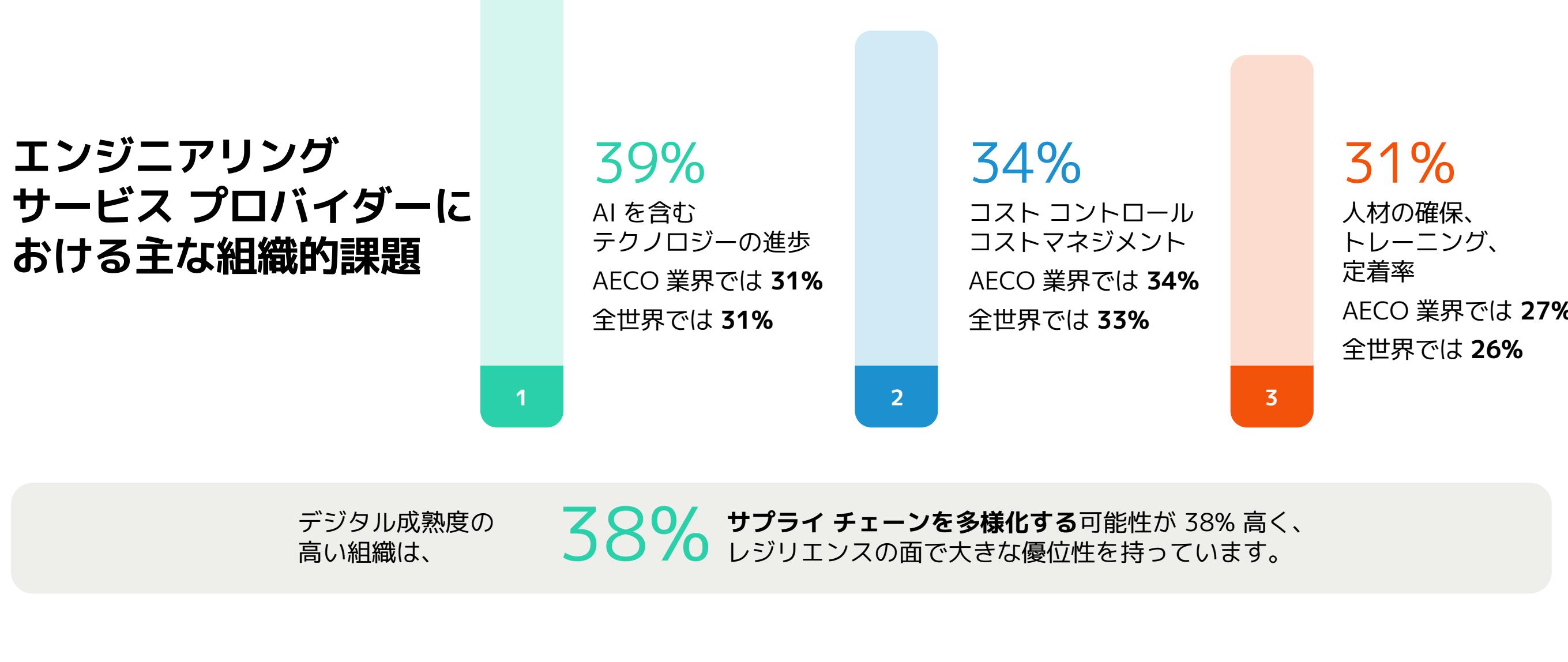
デジタル成熟度の高い企業のビジネスリーダーの内サステナビリティ投資を加速している割合。これに対し、デジタル成熟度の低い企業では54%です。

ステークホルダーの影響力は低下している



インサイト 3 AIがサステナビリティの実現手段として首位の座を維持

年別の主なサステナビリティ施策

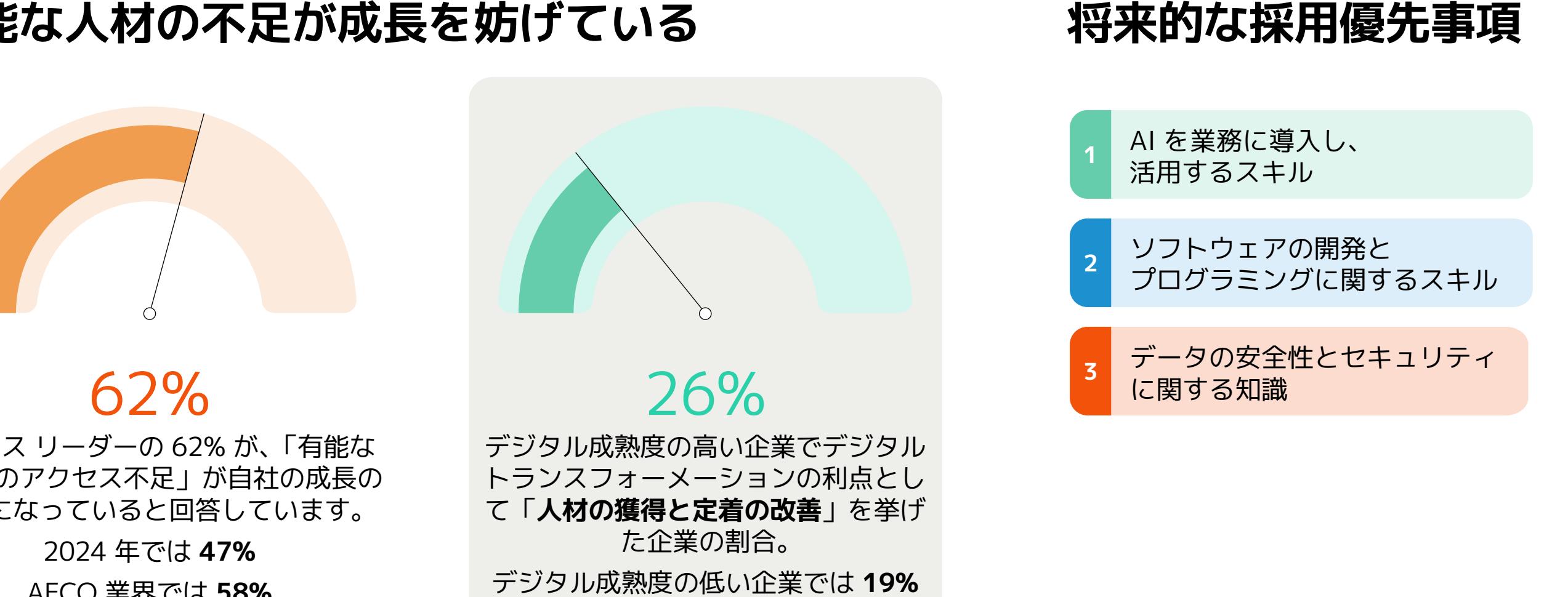


デジタル成熟度の高い企業は、デジタル成熟度の低い組織よりも、サステナビリティのためにAI技術を活用していると報告

40% vs. 36%

インサイト 4 現実に直面したAIのハイプサイクル

AIに対する意識がエンジニアリングサービスプロバイダー全体で低下している



75%

デジタル成熟度の高い企業のビジネスリーダーの内「AIへの投資を増やす」と回答した割合。これに対し、デジタル成熟度の低い企業では65%です。

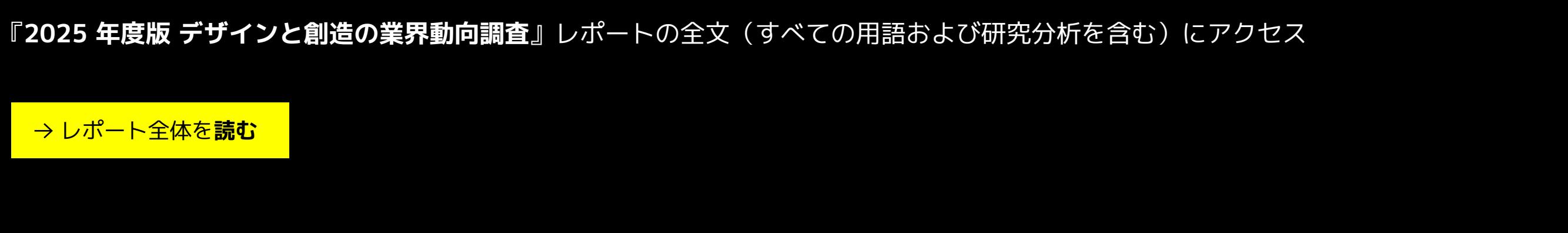
インサイト 5 最大の懸念はテクノロジー、コスト、人材



デジタル成熟度の高い組織は、サプライチェーンを多様化する可能性が38%高く、レジリエンスの面で大きな優位性を持っています。

インサイト 6 近い未来に対する慎重な見方がビジネスリーダーに拡大

リーダーたちは将来に対してより楽観的である一方、準備は十分ではないと感じている



インサイト 7 AIスキルを備えた人材の獲得が激化

有能な人材の不足が成長を妨げている

将来的な採用優先事項

- AIを業務に導入し、活用するスキル
- ソフトウェアの開発とプログラミングに関するスキル
- データの安全性とセキュリティに関する知識

インサイト 8 投資は堅調を維持しつつも不確実性を反映

将来的な投資増を計画中

79% vs. 53%

デジタル成熟度が高い
デジタル成熟度が低い

新規市場への参入を検討中

72% vs. 50%

デジタル成熟度が高い
デジタル成熟度が低い

